



一般社団法人日本ボリビア協会

ASOCIACION NIPPON-BOLIVIA

老人が語る、事実を知ることの重要性。
帝国主義とゲリラ戦の行く末とは。

日本ボリビア協会主催映画上映会

2018年2月15日(木) 18時半～

神戸大学東京六甲クラブ(有楽町帝劇地下2階)

料金：500円(ボリビアの軽食付)

映画鑑賞と太田昌国氏との座談会

申込〆切：2月9日(先着30名)

El Enemigo Principal (Jatun Auk'a)

- 1974年
チェコ：カルロビバリ映画祭
水晶賞
- 1975年
ポルトガル：フィゲラ・ダ・
フォス映画祭最優秀映画賞
- 1975年
スペイン：コスタ・デル・
ソル映画祭最優秀映画賞

1974年に制作されたこの映画は、都市から来たゲリラと、アンデスの寒村に住み地主の横暴に苦しむ貧農の出会いから、ペルー・アンデスにおける反地主・反帝国主義の共同闘争の過程を描いている。1980年に日本で最初に紹介されたウカマウ集団の作品として高い評価を得て、その後38年続く太田氏らの自主上映と、この集団との共同制作の基盤がつけられた。この作品は、明らかにボリビアにおけるチェ・ゲバラらの闘いと敗北を彷彿とさせる。

当日スケジュール予定

- 18:00 開場
- 18:30 開会
- 18:35 太田氏より映画の紹介
- 18:45 上映開始
- 20:25 上映終了
- 20:30 太田氏を囲んで座談会
(題：ボリビアの映画集団ウカマウが描いてきたアンデスの歴史過程)

ボリビア・ウカマウ集団制作/ホルヘ・サンヒネス監督

お申込先：
admin@nipponbolivia.org
042-673-3133
(当日のみ090-9390-7651)
一般社団法人日本ボリビア協会

第一の敵

